

新任の角川(順洋)です

2018年7月より日本非開削技術協会の事務局長となりました角川順洋です。前任の小谷事務局長から引き継ぎました。協会の運営の隅々まで熟知されている小谷事務局長の後で、どうしても至らぬ点が出てくることと思いますが、全力で取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長就任にあたり、少々自己紹介をさせていただきます。

平成7年に東京電力に入社。入社後しばらくはシールド工事の現場担当をしておりました。その後、地下埋設設備の活用検討や新規事業、通信事業を経験した後、JSTT事務所から近くの豊洲地区の開発現場で小口径推進工事を担当しました。この地に縁があるようで、私の非開削技術経験の中でも、条件が悪く苦労が多かったことから一番思い入れのある現場だったと思います。非開削工事の経験量としては皆さまと比較してわずかではありますが、ここで改めて勉強する思いで頑張りたいと思います。

またせっかくですので個人的なことも少々ご紹介させていただきます。5年前から友人に誘われ登山を始めました。今まで運動には積極的ではなかったもので、始めた最初のころは日頃の体力



不足から、最初は苦しいという思いのほうが強かったように思います。それが次第に回数を重ねていきますと、達成感の思いが強くなり印象に残ることに気づきました。登り切った爽快感は、普段の生活ではちょっと得られないもので、これが毎年行事としてやめられなくなってしまいました。

今年は、憧れのアルプスにデビューし、初心者向けと言われる「仙丈ヶ岳」に登ってきました。写真にあるように、素晴らしい天気恵まれ、一部ではありますが縦走も経験することもでき、最高の気分を味わいました。

まだまだ登山も初心者ではありますが、目標は高く、いずれは北アルプス「剣岳」にも挑戦したいと考えております。

少々個人的な内容が多くなってしまいました。

まだまだ不慣れな点が多いのですが登山同様に、何事にもチャレンジしていきたいと思っています。ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが「いずれ到達できる」という信念で取り組む所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



前任の小谷(和弘)です

平成26年2月より事務局長を4年と6か月勤めさせていただきました。これもひとえに会員の皆様方のご支援のおかげと改めて御礼申し上げます。また、在任中は行き届かぬ点多々あったと思いますがご容赦ください。この4年間の感想として二つの大きな変化を感じております。

まず一つ目は非開削技術の普及・発展のため2件のマニュアルの制定を相次いで行ったことです。

平成28年3月には地下探査技術委員会による電波や電磁波による地中の空洞や埋設物の調査などの技術の普及・発展を目指して「非開削地下探査技術適用の手引き(案)」を、平成29年3月にはソーシャルコスト検討委員会による開削工法や非開削工法による地下管きょ工事に起因する車両交通や周辺居住者に与える影響などを試算する「地下管路工事の社会的費用—算定の手引き—(案)」を制定しました。この制定にあわせ、平成29年度には非開削工法の拡充・充実を目指して、上記2件に加えすでにマニュアルとして制定したHDD(誘導式水平ドリル)工法、他協会の協力による管路更生工法と合わせて4科目の講習会を全国で実施し、今後も継続を考えています。

二つ目は会員各位の海外非開削技術情報収集や海外進出への意欲的な取組みの急増が挙げられます。約10年以上前までに



は毎年海外へ調査団や視察団を派遣していましたが、近年はこのような取組みは皆無となっていました。最近では会員それぞれの立場で学会や展示会への参加に加え、非開削分野ではISTTの展示会・論文発表、北米の「No-Dig Show」、ドイツの「IFAT」や「RO-KA-TECH」、東南アジアで開催される「TRENCHLESS ASIA」などに参加されています。また、平成30年度から国土交通省下水道部では日本の下水道技術の海外への普及支援の一環として「海外下水道技術海外実証事業」を始めました。また、ISTT等を通じた海外からの非開削技術の紹介などもあります。JSTTが誕生して今年で30周年を迎えます。数年後にはこれらの結果として新技術が花開き新たな飛躍に期待しているところです。

私事ですが、67歳まで健康で仕事に取組めた根底には、健康のためと40歳ころから始めたマラソンが心と体の健康に大きな支えになったものと思っています。いつまで続くかわかりませんが年に2回くらいはフルマラソンを走りたいものです。2016年と2018年の東京マラソンに運よく当たり参加しました。写真は2016年のものです。

皆様のご今後のますますのご発展を祈りごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

